

パルプ・紙製造業におけるその他の一般動力機械を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	7~8	本社工場2F西側にある抄紙部門にて、朝、マシン停止後に同僚がルーシブロアのVベルトに亀裂を発見し、被災者と2人で交換作業をはじめた。本来はベルト交換の際にはテンションを緩めて行うという作業手順であるが、それを守らず張った状態で作業を行ってしまった。その為、1本目を掛け、2本目を入れる為に同僚が注意を促しながら1本目のベルトを押しした際、被災者がベルトの内側を掴んで引っ張ったため、勢いでプーリーとベルトの間に左手小指を挟んでしまった。	41	30~49
3	0~1	レワインダー芯棒供給装置で、芯棒台車から中継テーブル間の搬送アームから芯棒が脱落したため芯棒供給装置内に入り、手で修正しようとした。その際に中継台車が動き、フレームと中継台車の間に挟まれた。	49	500~999
7	6~7	ワインダーコアー自動供給装置にて、コアー台車のセット不良アラームが発生したので台車セット用リミットスイッチに不具合があると考え、一旦パネル操作にて台車保存装置を開放とし、すぐに固定側へスイッチを着替えたのちリミットスイッチの作動を確認（台車保持装置開放とした事で台車が固定ブラケットより100m/m程離れた）この時リミットスイッチがONとなり保持装置が作動、離れていた台車が引き寄せられ、台車と固定ブラケットの間に右手中指が挟まれ被災した。	42	100~299
12	9~10	工場内において、林料を打砕する機械を清掃しているとき、回転部品のカバーをずらして清掃しており、別の部品の清掃も同時に行うため、回転部品のスイッチを入れた。カバーをずらしたままだったので大きな音がし、音を消そうと咄嗟にカバーを押さえようとしたところ、カバーと近くにあった棒の間に指を挟んだ。	59	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html